

社員選挙 立候補者名簿

受付番号	立候補届出日	氏名	所属	会員番号	年齢	立候補所信
1	7月2日	桐野 豊	徳島文理大学	1	67	なし
2	7月5日	岡崎 義光	産業技術総合研究所	48	51	体内で使用されるインプラント製品の力学的評価方法を中心に貢献するとともに新製品開発の迅速化、産業化の支援を目指す
3	7月11日	西村 多美子	就実大学	606	56	医薬品、医療機器の審査・調査をレトロスペクティブに解析し、法則性を見出すことで、レギュラトリーサイエンスの発展に貢献していきたいと考えています。科学的な法則性は患者の薬学に対する信頼をより高めることに繋がるでしょう。
4	7月11日	会田保俊	日本製薬工業協会薬事委員会委員長	4	56	なし
5	7月11日	西川 徹	日本OTC医薬品協会	54	61	なし
6	7月12日	川西 徹	国立医薬品食品衛生研究所	116	59	活動を開始したレギュラトリーサイエンス学会の学会活動の中核である、医薬品のレギュラトリーサイエンスについて、広がりとともに深さを持たせるため寄与できればと考えております。宜しく願いいたします。
7	7月12日	松田 勉	山形大学	6	52	なし
8	7月12日	渡邊 裕司	浜松医科大学	378	53	アカデミア、また臨床薬理学の立場から、社員の一人として学会活動をお手伝いさせて頂ければ幸いです。
9	7月12日	川口 政良	エーザイ株式会社	12	62	なし
10	7月12日	永井 良三	東京大学大学院医学系研究科	5	62	なし
11	7月12日	藤原 康弘	国立がん研究センター中央病院	10	51	なし
12	7月12日	宗岡 徹	関西大学大学院会計研究科	3	54	レギュラトリーサイエンスは、自然科学のみならず社会科学としての面も有しています。私は社会科学としてのレギュラトリーサイエンスについて学際的な研究を盛んにするとともに、自然科学との融合を図るべく活動していきたいと考えています。宜しく願いいたします。
13	7月13日	内海 英雄	医薬品医療機器総合機構	108	64	なし

14	7月13日	長野 哲雄	東京大学	11	62	なし
15	7月13日	橋田 充	京都大学大学院薬学研究科	7	59	なし
16	7月14日	成川 衛	北里大学	14	43	本学会が会員相互のよき鍛錬の場となるよう努力します
17	7月14日	赤座 英之	東京大学先端科学技術研究センター	30	65	レギュラトリーサイエンスに関して、アカデミアからの意見は不可欠であると考えます。その観点から、一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会社員(評議員)に立候補いたします。
18	7月14日	中江 大	東京都健康安全研究センター	292	53	機会を与えて頂ければ、経験と専門性、地方衛生研究所所属という特異な立場を活かして、一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会の活動に貢献したいと考えます。
19	7月14日	清水 美穂	東京大学大学院・情報理工学研究所	586	45	第3次男女共同参画基本計画(平成22年閣議決定)に基づき、とくに割合の少ない科学技術分野における女性の方針決定参画が求められている。国が定める「2020年30%」の目標達成へのポジティブアクションとして、本学会においても男女共同参画委員会を設立運営し、社会が必要とするレギュラトリーサイエンスに女性の視点が活かされるよう推進したい。
20	7月14日	松村 一	東京医科大学形成外科	39	49	医薬品、医療機器等の品質・安全性・有効性を確保するために、臨床医学の立場並びに医療情報学的な立場からの参加をしたいと存じます。今後、再生医療を含めて、医薬品・医療機器等の研究開発、品質・非臨床・市販後の各フェーズにおいての、臨床医療の現場や医療経済学的な観点からの摺り合わせが必要と感じ、これらの点で学会に貢献していきたいと考えております。
21	7月14日	船田 正彦	独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所	695	46	基礎研究と行政の理想的な融合を目指し、レギュラトリーサイエンス発展に微力ながらお役に立ちたいと考えております。
22	7月14日	山根 隆志	独立行政法人 産業技術総合研究所	47	58	(独)産業技術総合研究所における人工心臓をはじめとする医療機器の技術研究開発経験と、また(独)医薬品医療機器総合機構における医療機器審査経験を生かし、実用化をめざす医療機器の研究開発とレギュラトリーサイエンス構築をライフワークとして、学会における人材育成、産業支援に尽力したいと思います。
23	7月14日	野元 正弘	愛媛大学	516	59	なし

24	7月14日	稲垣 治	アステラス製薬株式会社	387	55	レギュラトリーサイエンスの発展に少しでも貢献できればと考えています。
25	7月14日	岩崎 甫	グラクソスミスクライン株式会社	468	64	患者さんに、また医療の現場により良い医薬品および医療機器を適正に、また遅滞なく届けるための諸問題を検討する場としての学会の活性化に貢献致したいと考えております。
26	7月15日	斉藤 嘉朗	国立医薬品食品衛生研究所	44	46	国立衛研入所時に、当時の内山副所長より、レギュラトリーサイエンスに関するご薫陶をいただきました。現在は、医薬品の副作用に監視、ウェットとドライの両面から研究を行っております。既に学会誌の編集委員として活動させて頂いておりますが、発足間もない本学会が確固たる地位を築けるよう、微力ながら貢献いたしたく、立候補させていただきました。
27	7月15日	中村 和市	塩野義製薬株式会社	339	56	なし
28	7月15日	奥田 晴宏	国立医薬品食品衛生研究所	267	56	医薬品の流通はますます国際化、複雑化し、品質保証の強化が必要であるとともに、一方で最新の科学技術を取り入れた品質管理手法の導入が推奨され、品質規制の国際的な調和が一層求められているところである。品質分野におけるICH活動の経験等を踏まえ、特に、当学会における品質分野の活動に貢献
29	7月15日	栄田 敏之	京都大学大学院薬学研究科	288	50	力不足ながらも、運営委員を仰せつかっておりますが、さらに評議員として、レギュラトリーサイエンスのシンポ、普及に貢献したいと考えています。どうぞ宜しくお願いいたします。